



学校だより

教育目標：元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.548

令和 5年 4月 28日

練馬区立田柄第二小学校

校長 岩井 一雄

教えるべきこと・任せること・一緒に行うこと

校長 岩井 一雄

令和5年度がスタートして、早くも一ヶ月。初めは神妙な表情をしていた1年生も、今では元気いっぱい休み時間に校庭を走り回っている様子が見られるようになりました。その1年生の学習準備を手伝っていた6年生の表情には、日増しに自信を深めている様子が見られます。どの学年の子供たちも、少し不安な気持ちもあるとは思いますが、一つ進級して新たな学校生活をスタートできたことはとてもうれしいことです。

ところで、先日こんなことがありました。給食時に、上手に片づけが進められているか1年生の前の廊下で足を止めたときのことで、「ちゃんとやっているの、校長先生はあんまり見に来なくても大丈夫!」と、子供にきっぱりと言われてしまいました。入学したばかりであることを考え、必要なら手助けを、と思っていたのですが、小学校で、できるようになったことは自分でやろう、と心に決めていた子供にとっては意に反することだったのでしょ。

では、子供たちは何も教えられなくても、給食の準備や片づけができるようになったのかといえば、そうではありません。この時期、先生たちは学年で話し合っ手順を確かめ、段階を追って教えることを決め、やって見せ、一人一人に声を掛け、日々真剣に指導を重ねています。それゆえ、子供は自分でできるようになったという思いを膨らませることができるのです。「きちんと教える。」そのうえで「任せてみる。」そして寄り添いながら「一緒に行う。」この3つのことを大切にしていきます。発達段階や教科、子供一人一人の個性に即して、この3つのことをバランスよく行っていくことは難しいことでもあります。しかし、将来の予測が難しい社会の中で、「自分で」「自分から」「自分たちで」考え行動していく土台となる力は、しっかりと身に付けさせていくことが大切であると考えます。それを支えるのは我々大人で、今年度も今まで以上に「子供たちのよりよい成長」という視点で、家庭・地域との連携をより一層深めていきたいと考えております。また様々な形で、ご理解・ご協力いただくことになるとと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

5月の生活目標「友達をたくさんつくろう」

小学校の6年間は、心も体も大きく成長する時期です。多くの体験や、様々なチャレンジ、また、人との関わり合いの中で心が大きく成長します。今月の目標は「友達をたくさんつくろう」です。新学期が始まって1ヶ月、今まで仲のよかった友達を引き続き大切にするのはもちろんですが、新しい友達をたくさんつくる5月にしてほしいと願っています。そのためには、自分から声をかけることが大切です。もし、声をかけるのが難しければ、あいさつから始めるのもいいかもしれません。少しの勇気をふりしぼり、自分から声をかけられるよう、ご家庭でも励ましてあげてください。